

# J A南彩自己改革取組宣言

組合員・地域に必要とされる組織であり続けるため  
J A南彩は総合事業を展開してまいります

私たちは、3つのめざす姿に向かって、農産物の販売、信用事業(J Aバンク)、共済事業(J A共済)などの様々な事業と相談活動による総合事業体で、自己改革に取り組めます。

## <3つのめざす姿>

1. 農業者所得の増大、農業生産の拡大を通じ、持続可能な農業を実現します
2. 地域を活性化し、豊かでくらしやすい地域社会を実現します
3. 次世代とともに、食と農を基軸に、協同組合としての役割を発揮します

自己改革をやり遂げるために3つを実践します。

- ① 組合員との対話運動
- ② 自己改革工程表による進捗管理
- ③ 営農とくらしを守る総合事業の持続的展開

主な取組みを次の3点により紹介します。

1. 担い手・新規就農者への農業振興支援 (農業振興積立金：9,200万円)  
【令和3年度までの達成目標：新たな特産物・加工業務用野菜栽培 550a】  
TACの訪問活動を通じ、担い手・新規就農者に対し、新たな農産物の産地づくりや加工業務用野菜の栽培提案及び生産拡大に対する支援・助成また新規就農者への販路開拓や設備投資などの挑戦をサポートします。
2. 担い手経営体への労働力確保対策  
農業者の高齢化・農業生産の拡大など労働力の確保に対し、J A南彩あぐりサポートが求人・求職者募集の窓口となり、農業生産への支援に取り組めます。
3. 生産コスト低減に向けた取組み  
【令和3年度までの達成目標：主要銘柄 17,500袋 (毎年3%増)】  
高度化成肥料等の集約銘柄の取扱いと水稲用ペースト肥料の銘柄集約、さらに予約率向上による仕入強化また各種キャンペーンの実施や自己取り奨励値引き等により生産者コスト低減に取り組めます。

なお、当J Aの営農指導事業の主な取組みは次のとおりで、予算額は13,820千円となっています。

- ① TACの訪問活動による担い手経営体への個別対応
- ② J A独自の農業振興支援事業の活用による生産拡大への取組み
- ③ 安全・安心な農産物の確保対策として生産履歴記帳の実践とS-GAPの取得支援
- ④ 担い手サポートセンターとの連携による農業経営承継の取組み支援